

清流が、甦る日まで。

長閑な原風景が広がる上小山田町の田中谷戸、そこに湧く泉を源流とする鶴見川は

鶴川で真光寺川と、川崎市麻生区で麻生川と合流し

横浜市生麦の河口から東京湾に注ぐ一級河川。

その全長は42・5km、フルマラソンとほぼ同じです。

遠い昔、川の水は美しく透き通り

ハヤが群れをなして泳いでいたといえます。

夏になれば川で泳ぎ、魚を捕まえて遊んだものだよ、と

幼い頃の思い出話をする人も少なくなりました。

今の鶴見川にハヤの姿はありません。

近年、水質改善に向けた様々な活動のお陰で

最近ではヤマベやウナギ、アブラハヤやホトケドジョウが暮らし

カワセミやシラサギも飛んで来るようになりました。

風薫る新緑の頃には、大空に沢山の鯉のぼりが泳ぎ

子どもたちの笑顔と元気な声が川に戻ってきます。

“子どもたちが遊べる昔の川を取り戻そう”

この想いはずっと受け継いでいかなくてはなりません。

これから続く未来のために――。